

◎安達志郎副市長

立地適正化計画に基づく国費補助についてお答えをいたします。

都市構造再編集中支援事業とは、立地適正化計画における誘導区域内で実施するコンパクトシティに資する事業であり、国の補助メニューの中でも比較的有利な財源となっております。

現在、本市では笠間駅周辺地域で実施する白山市立鉄道ビジターセンターの整備に活用をいたしております。

公立松任石川中央病院の増改築の実施においても都市構造再編集中支援事業として国の補助金の活用も可能と考えており、白山石川医療企業団及び構成市町の健全な財政運営を維持するためには有効な方策であると考えております。

今後は白山石川医療企業団の示す増改築スケジュールと立地適正化計画を含めた本市の各種計画の見直しのスケジュール等をすり合わせ、まずは、必要となる公立松任石川中央病院の誘導区域へ含めるための計画の見直しや適切な時期での事業実施に向け協議を行っていきたいと考えております。

以上でございます。